

チャレンジ&エコツアー “魅力発見エコツアー”



主催：山口県教育委員会

後援：周防大島町、周防大島町教育委員会

第1章 事業の概要

02

1 実施要項

2 実施プログラム

第2章 事業の実際

06

1 企画熟議

2 魅力発見エコツアー

第3章 事業の効果

12

1 企画熟議参加者アンケートから

2 ツアー参加者アンケートから

3 ボランティアアンケートから

(参考) プログラムの実施体制について

20

事業の概要

令和6年度 地域と連携したリアルな体験活動充実事業

- 1 実施要項
- 2 実施プログラム



令和6年度 地域と連携したリアルな体験活動充実事業
「やまぐちチャレンジ&エコツアー」 実施要項

山口県教育委員会

1 趣 旨

自然体験活動やグループでの他者との関わりを通して、自分の能力や可能性に気づき、子どもたちの社会を生き抜く力として必要な非認知能力（自己肯定感、自律性、協調性、積極性等）の向上を図る。

また、地域の特色を生かしたエコツアーを通して、自然環境や歴史文化等を体験しながら学ぶことで、自然や文化を守り未来への遺産として引き継いでいく活力ある持続的な地域をつくる人材を育成する。

2 主 催

山口県教育委員会

3 共 催

(公財)山口県ひとづくり財団（山口県十種ヶ峰青少年自然の家）

4 後 援

山口県教育委員会

周防大島町

周防大島町教育委員会

5 実施プログラム及び対象、期間等

プログラム名	対 象	定員	期 間	実施場所
やまぐちアドベンチャーキャンプ	小学5・6年生 及び中学生	32人	7月28日(日)～8月4日(日) [7泊8日]	十種ヶ峰青少年 自然の家及び周 辺山城
しまキャン	小学4～6年生 及び中学生	16人	7月20日(土)～7月21日(日) [1泊2日]	周防大島町
魅力発見エコツアー	小学4～6年生 及び中学生	16人	11月2日(土)～11月4日(月) [2泊3日]	周防大島町

6 プログラム内容

プログラム名	活動内容例（実施しない場合もあります）
やまぐちアドベンチャーキャンプ	<ul style="list-style-type: none"> ・バックパッキング（荷物を背負っての山歩き） ・ソロ（一人になる環境で思考する活動） ・ロッククライミング ・マウンテンバイク ・グループミーティング ・クリーンアップ（片付け）等
しまキャン	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会（自然・環境） ・シュノーケリング ・シーカヤック ・海浜清掃等
魅力発見エコツアー	<ul style="list-style-type: none"> ・みかん収穫体験及びジュース・ジャム作り ・みかん鍋調理 ・フラダンス体験 ・自然物のリース作り等

7 事前説明会（やまぐちアドベンチャーキャンプのみ）

日時：令和6年6月30日（日）9時30分～12時00分

場所：山口県十種ヶ峰青少年自然の家（山口市阿東）

対象：やまぐちアドベンチャーキャンプ参加者及び保護者（親子での参加）

※しまキャン及び魅力発見エコツアーは事前説明会なし。

内容：プログラムの目的及び持参品説明、保護者との質疑応答、参加者同士の人間関係づくり、野外活動に係る基本スキルのレクチャー等

※応募多数による抽選の場合、事前説明会への出席が可能な参加者を優先する。

8 参加費

プログラム名	参加費	内訳
やまぐちアドベンチャーキャンプ	20,000円	食費、施設使用料、保険代、装備物品代、消耗品費等
しまキャン	8,000円	食費、活動費、保険代、宿泊費、消耗品費等
魅力発見エコツアー	16,000円	食費、活動費、保険代、宿泊費、消耗品費等

9 持参物

プログラム名	持参物(例)
やまぐちアドベンチャーキャンプ	<p>長袖シャツ、半袖Tシャツ、下着、長ズボン、ソックス、帽子、タオル、登山靴、カップ(丈夫な物)、ヘッドランプ、軍手、油性ボールペン、空のペットボトル(500ml)、チャック式クリアフォルダー、歯ブラシ、ビニル袋、虫除けスプレー・虫さされの薬、水着等</p> <p>※ザック等の野外の生活に必要な装備の多くは主催者側で共同装備として準備(詳細は事前説明会時に説明)</p>
しまキャン	<p>衣類(2日分の着替え)、帽子、雨具(傘またはカップ)、懐中電灯、タオル(入浴用と洗面用)、洗面用具、筆記用具、軍手、ビニル袋、常用薬・酔い止め薬(必要な人)、活動用リュックサック、虫除けスプレー・虫さされの薬、水着(ラッシュガード含む)、マリンシューズ、水泳帽子等</p> <p>※詳細は参加決定通知に記載</p>
魅力発見エコツアー	<p>衣類(防寒着及び3日分の着替え)、帽子、雨具(傘またはカップ)、懐中電灯、タオル(入浴用と洗面用)、洗面用具、筆記用具、軍手、ビニル袋、常用薬・酔い止め薬(必要な人)、活動用リュックサック</p> <p>※詳細は参加決定通知に記載</p>

10 募集方法及び申込方法

プログラム名	募集方法	申込方法
やまぐちアドベンチャーキャンプ	<ul style="list-style-type: none"> 5月上旬に県内全小・中学校及び特別支援学校(小・中学部)に募集チラシを配付 地域連携教育推進課ホームページに募集ページを掲載 	往復はがき (6月3日(月)必着)
しまキャン	<ul style="list-style-type: none"> 5月上旬に小・中・高等・総合支援学校に体験活動情報の案内メール登録を促すチラシを配付し、事業実施約2か月前に登録者にメールにて募集案内通知 地域連携教育推進課ホームページに募集ページを掲載 	電子申請 (詳細はホームページに掲載)
魅力発見エコツアー	<ul style="list-style-type: none"> 地域連携教育推進課ホームページに募集ページを掲載 	

11 その他

- やまぐちアドベンチャーキャンプ参加者の決定にあたっては、不登校等の課題を抱える児童生徒に配慮する。
- 山口県野外教育活動指導者研修会を修了した指導者及び学生ボランティア等が指導にあたる。
- 本事業は文部科学省の委託事業を活用して実施する予定としており、委託契約の条件によっては内容を変更して実施する。

12 問合せ先

山口県教育庁地域連携教育推進課 青少年教育班 担当：中島
〒753-8501 山口県山口市滝町1-1
電話：083-933-4650 FAX：083-933-4669
電子メール：a50400@pref.yamaguchi.lg.jp

実施プログラム

①第1回企画熟議

日時:令和6年6月9日(日) 14:00から15:30まで

参加者:山口県立大学生4名、周防大島高校生11名

会場:山口県立周防大島高等学校

②第2回企画熟議

日時:令和6年7月7日(日) 13:30から15:30まで

参加者:山口県立大学生8名、周防大島高校生11名

会場:山口県立周防大島高等学校

③魅力発見エコツアー

日時:令和6年11月2日(土)10:00から11月4日(月)12:30まで

参加者:県内小中学生(16名)

主会場:ゲストハウスHOSHIKAZE

活動場所:周防大島高等学校、サザンセットとうわ、岬崎さんのみかん畑
竜崎温泉・ちどり、宮ノ下保育園、なぎさ水族館
地家室園地拠点施設

宿泊場所:ゲストハウスHOSHIKAZE

事業の実際

令和6年度 地域と連携したリアルな体験活動充実事業

- 1 企画熟議
- 2 魅力発見エコツアー



1 企画熟議（第1回6月9日）

①第1回企画熟議 6月9日(日)

14:00 アイスブレイク・自己紹介

14:20 主催者より事業の説明

・エコツアーの目的、概要、熟議の目的を共有した。

14:30 企画熟議

15:20 アイデア発表

・周防大島の魅力を生かした学びのツアー（エコツアー）のプログラムについて話し合い、以下のようなアイデアが出された。

- ①自然環境保全をテーマとしたプログラム（どんぐり拾い（植える）、アワサンゴをみる、星の観察、竹炭づくり、シーグラスでグッズづくり、よしを使ったハンモック、海岸清掃、大島の海洋ごみを学ぶ等）
- ②歴史、文化をテーマとしたプログラム（フラダンス体験、アロハビズ、レイ作り、歴史の地を回るスタンプラリー、日本と海外（ハワイ）とのつながりを歴史から学ぶ等）
- ③地域の特色に触れるプログラム（周防大島の住人何人に挨拶できたかバトル、地域の人との交流、みかん狩り（地域の人と一緒に）、みかん鍋とジャムづくり、島の猫とのふれあい等）
- ④レジャー等をテーマとしたプログラム（ダイビング&海の家、船の上での釣り体験、本土帰還レース大会（サバイバル体験）等）

15:25 次回の連絡



1 企画熟議 (第2回7月7日)

②第2回企画熟議 7月7日(日)

13:30 アイスブレイク・自己紹介

13:50 主催者より説明

- ・今回の熟議の目的
- ・第1回のアイデアの紹介

14:00 企画熟議

- ・魅力発見エコツアーのパッケージ化とキャッチコピーについて

15:20 パッケージ案発表

- ①「魅力発見ツアー」…1日目:周防大島の料理体験(みかん収穫→みかん鍋の情報収集→みかん鍋づくり) 2日目:周防大島の海を体験(ニホンアワサンゴ観察→カレーづくりとキャンプファイヤー) 3日目:フラダンス体験(フラダンス体験→ツアーのアルバムづくり)
- ②「周防大島を楽しみ尽くす」…1日目:自然とふれあう(ニホンアワサンゴ観察→魚釣り→星空観察) 2日目:自然体験(嵩山ハイキング→岩巡り(立岩、帯石、巖門、岩屋観音)) 3日目:環境を考える(ゴミ拾い→漂着ごみアート→星のビーチとジェラート)
- ③「大島体験」…1日目:(釣り→釣った魚を調理) 2日目:(フラダンス体験→レイづくり→海岸清掃→拾ったもので工作→竹を使った炊き込みご飯→キャンプファイヤーと星空観察) 3日目:(アワサンゴ観察→発表会(地域の人を招待))
- ④「自然ハッケン～大島満喫体験～」…1日目:レイづくり→フラダンス体験→ネコ探し→海で夕日を見ながらフラダンス 2日目:朝日を見る→みかん狩り→ジャムづくり→みかん鍋→海でシーグラス拾いと星空観察 3日目:ジャムを使った朝ごはん→ニホンアワサンゴ観察→シーグラス写真立てづくり→道の駅とジャムズガーデンでお土産探し→解散式

15:30 ふりかえり



2 魅力発見エコツアー プログラム内容と活動の様子

1日目 (11月2日)

開会式、アイスブレイク、講話(ハワイと周防大島との関係)



昼食、移動(周防大島高校へ)、周防大島高校見学



フラダンス体験



竹灯籠づくり



バーベキュー、ふりかえり



2 魅力発見エコツアー プログラム内容と活動の様子

2日目 (11月3日)

朝食(いりそばづくり)、移動(みかん畑へ)



みかん・菊芋収穫体験



ジャムづくり・ジュースづくり・レイづくり



サザンセットとうわ見学(ソフトクリーム)、真宮島見学、みかん鍋食材調達(鳴津鮮魚店)



みかん鍋づくり、ふりかえり(発表準備)



2 魅力発見エコツアー プログラム内容と活動の様子

3日目 (11月4日)

朝食(自作のジャムパン・ミカンジュース)、海岸清掃(シーグラス採集)、発表準備、HOSHIKAZE出発



なぎさ水族館見学、レジンアートづくり



地家室園地拠点施設見学、発表準備



発表、閉会式、解散



事業の効果

令和6年度 地域と連携したリアルな体験活動充実事業

- 1 企画熟議参加者アンケートから
- 2 ツアー参加者アンケートから
- 3 ボランティアアンケートから



1 企画熟議参加者へのアンケート結果

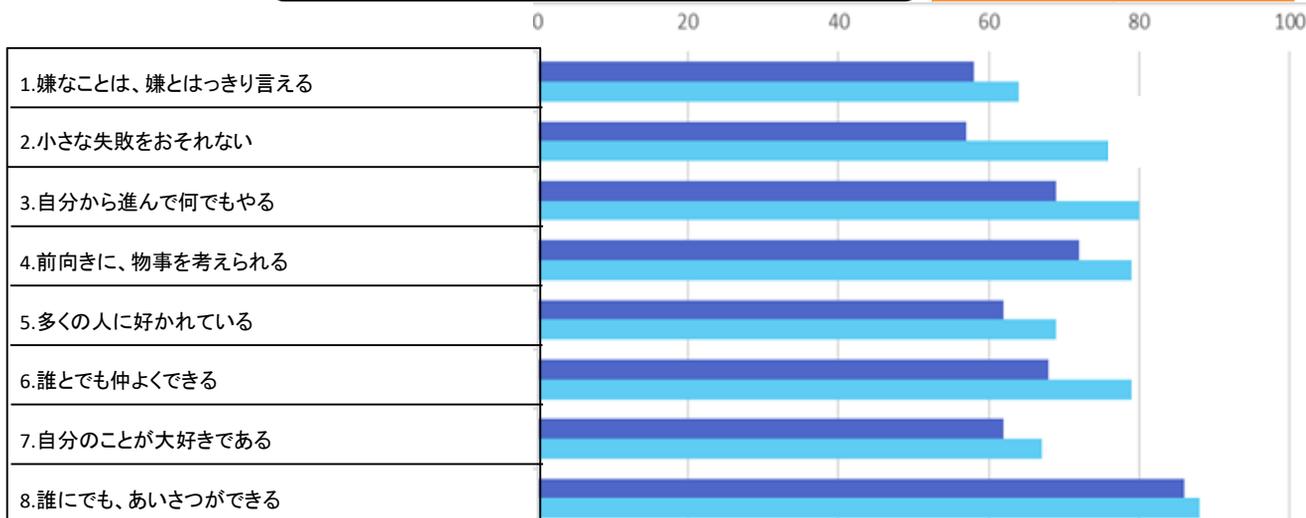
□IKR評定用紙(簡易版)に基づいたプログラムの効果測定(合計値比較)を行った
 ※合計得点の変化を視覚化。「IKR(生きる力)評定用紙(簡易版)」(国立青少年教育振興機構)より8項目を抽出。

企画熟議

事前調査 7/7実施 (高校生8人、大学生8人、回収率84%)
 事後調査 7/7実施 (高校生8人、大学生8人、回収率84%)

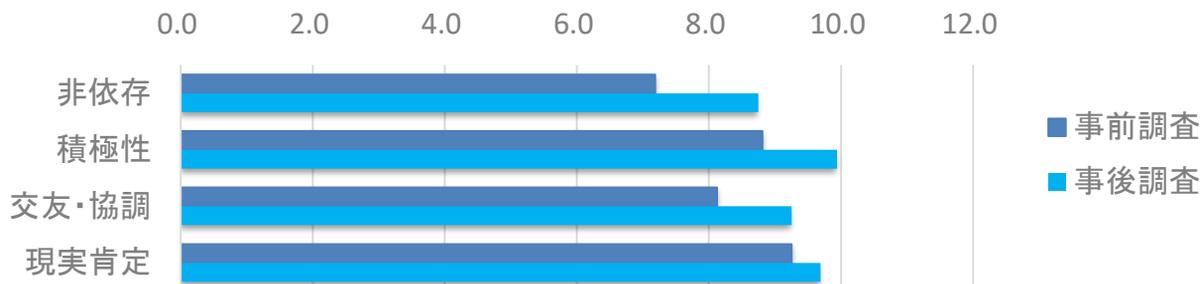
上段:事前調査

下段:事後調査



【考察】プログラムの事前から事後にかけて、実施したすべての質問項目(平均値比較)で得点に上昇がみられた。因子別において、「依存症」で1.3ポイント、「積極性」と「交友・協調」で1.1ポイント、「現実肯定」で1.3ポイントの得点の上昇が見られた。

「非依存」の質問項目	・いやなことは、いやとはっきり言える。 ・小さな失敗をおそれない。
「積極性」の質問項目	・自分から進んで何でもやる。 ・前向きに、物事を考えられる。
「交友・協調」の質問項目	・多くの人に好かれている。 ・誰とでも仲よくできる。
「現実肯定」の質問項目	・自分のことが大好きである。 ・誰にでも、あいさつができる。



また、参加者の感想から、以下のような学びが見られた。

- ・前回、話すのが苦手な子をどう対応するか困ったけど、今日はどんどん話してくれた。この2回に参加してそういった人にどう対応するのか学びになった。
- ・いろんな視点からの意見が聞けてよかった。人と話し合うと、自分では考えもしない意見や価値に出会えることがあらためて分かった。話し合うことが楽しかった。
- ・大人に動じず、自分の意見をしっかり言える高校生の姿に刺激を受けた。高校生や大人、地域の人と関わることが日頃なく、関わったことはとてもいい刺激と学びとなった。

2 魅力発見エコツアー参加者へのアンケート結果

口質問をよく読み、自分にあてはまるかどうか、「とてもよくあてはまる」から「まったくあてはまらない」までの6段階で教えてください。

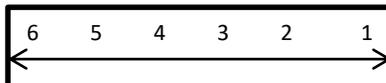
※合計得点の変化を視覚化。「IKR(生きる力)評定用紙(簡易版)」(国立青少年教育振興機構)による。

魅力発見エコツアー

魅力発見エコツアー2024

事前調査 11/2実施 (回収率 100%)

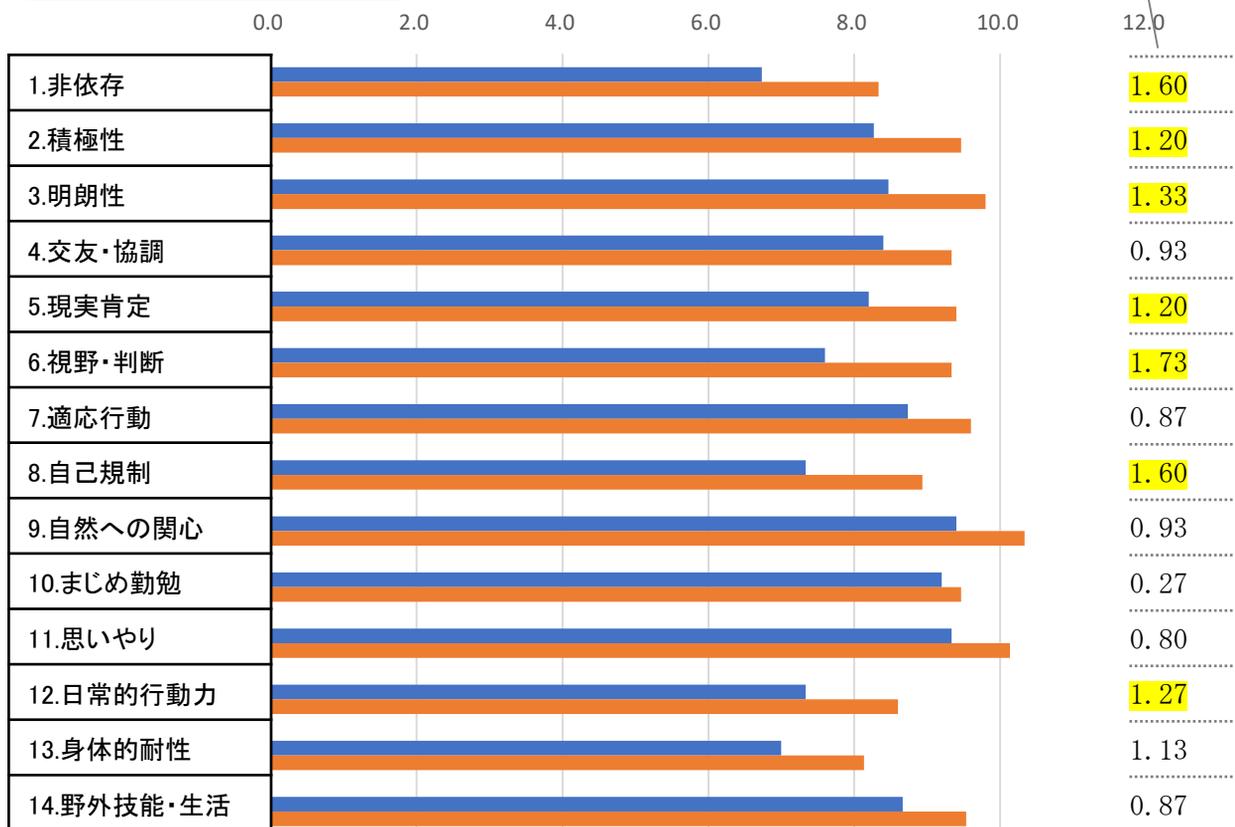
事後調査 11/4実施 (回収率 93.8)



上段: 事前調査

下段: 事後調査

事後—事前



【考察】プログラム前後で生きる力において、15.7ポイントの向上が見られた。因子別においても、全ての因子で得点が上昇しており、特に非依存、積極性、明朗性、現実肯定、視野・判断、自己規制、日常的行動力において、1ポイントを超える得点の上昇が見られた。

「非依存」の質問項目	<ul style="list-style-type: none"> いやなことは、いやとはっきり言える 小さな失敗をおそれない。
「積極性」の質問項目	<ul style="list-style-type: none"> 自分からすすんで何でもやる。 前向きに、物事を考えられる。
「明朗性」の質問項目	<ul style="list-style-type: none"> だれにでも話しかけることができる。 失敗しても、立ち直るのがはやい。
「現実肯定」の質問項目	<ul style="list-style-type: none"> 自分のことが大好きである。 だれにでも、あいさつができる。
「視野・判断」の質問項目	<ul style="list-style-type: none"> 先を見通して、自分で計画が立てられる。 自分で問題点や課題を見つけることができる。
「自己規制」の質問項目	<ul style="list-style-type: none"> 自分かってな、わがままを言わない。 お金やモノのむだ使いをしない。
「日常的行動力」の質問項目	<ul style="list-style-type: none"> 早寝早起きである。 からだを動かしても、疲れにくい。

名称 やまぐちチャレンジ&エコツアー”魅力発見エコツアー”

調査対象事業の概要

(実施期間)	2024/11/02～2024/11/04 2泊3日
(参加者)	16名
(主な活動)	歴史・文化学習、フラダンス体験、竹灯籠づくり、みかん収穫体験、オリジナルレイ作 みかんジャムづくり、みかん鍋調理、学習発表会

調査時期	実施日	配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
事前調査	11月2日	16	16	100.0%	15	93.8%
事後調査	11月4日	16	15	93.8%		

分析結果

(分析対象数の内訳)

(人)

性別	小学生			中学生			高校生以上	無回答	計
	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生			
男子	2	-	-	-	-	-	-	-	-
女子	3	1	5	1	1	2	-	-	-
無回答	-	-	1	-	-	-	-	1	-
計	5	1	6	1	1	2	-	1	16

(生きる力・28項目の集計結果)

能力	調査項目	事前調査		事後調査	
		M	SD	M	SD
生きる力		114.7	28.1	130.4	23.4
心理的社会的能力		56.4	15.2	65.3	13.1
非依存	1. いやなことは、いやとはっきり言える	3.5	1.1	4.3	0.9
	15. 小さな失敗をおそれない	3.3	1.8	4.1	1.5
積極性	11. 自分からすすんで何でもやる	4.2	1.5	4.7	1.0
	25. 前向きに、物事を考えられる	4.1	1.8	4.8	1.1
明朗性	5. だれにでも話しかけることができる	4.5	1.2	5.3	1.0
	19. 失敗しても、立ち直るのがはやい	3.9	1.6	4.5	1.5
交友・協調	7. 多くの人に好かれている	3.5	1.5	4.1	1.5
	21. だれとでも仲よくできる	4.9	1.1	5.3	1.2
現実肯定	9. 自分のことが大好きである	3.5	1.3	4.2	1.1
	23. だれにでも、あいさつができる	4.7	1.3	5.2	0.9
視野・判断	3. 先を見通して、自分で計画が立てられる	3.3	1.1	4.3	1.2
	17. 自分で問題点や課題を見つけることができる	4.3	1.6	5.1	1.0
適応行動	8. 人の話しをきちんと聞くことができる	4.4	1.3	4.7	1.0
	22. その場にふさわしい行動ができる	4.3	1.3	4.9	1.2
徳育的能力		35.3	7.4	38.9	5.8
自己規制	14. 自分かってな、わがままを言わない	3.5	1.3	4.3	1.3
	28. お金やモノのむだ使いをしない	3.8	1.5	4.7	1.0
自然への関心	6. 花や風景などの美しいものに、感動できる	4.4	0.9	5.1	1.0
	20. 季節の変化を感じるができる	5.0	1.0	5.3	0.7
まじめ勤勉	12. いやがらずに、よく働く	4.1	1.6	4.5	1.3
	26. 自分に割り当てられた仕事は、しっかりとやる	5.1	1.1	5.0	0.8
思いやり	2. 人のために何かをしてあげるのが好きだ	4.5	1.2	5.2	0.9
	16. 人の心の痛みがわかる	4.8	1.1	4.9	0.9
身体的能力		23.0	6.8	26.3	5.8
日常的行動力	13. 早寝早起きである	3.5	1.7	4.3	1.4
	27. からだを動かしても、疲れにくい	3.8	1.5	4.3	1.2
身体的耐性	4. 暑さや寒さに、まけない	3.2	1.5	4.2	1.3
	18. とても痛いケガをしても、がまんできる	3.8	1.7	3.9	1.4
野外技能・生活	10. ナイフ・包丁などの刃物を、上手に使える	4.3	1.5	4.6	1.2
	24. 洗濯機がなくても、手で洗濯できる	4.3	1.1	4.9	1.0

*各項目で「とてもあてはまる」を6点、「まったくあてはまらない」を1点としてそれぞれ1点刻みで得点化し、項目ごとに平均点 (M) 及び標準偏差 (SD) を算出

(教育効果の検証) 分析方法: 対応のある t 検定 (分析結果の詳細は詳細出力を参照)

「生きる力」の変容 (得点範囲: 28~168点)

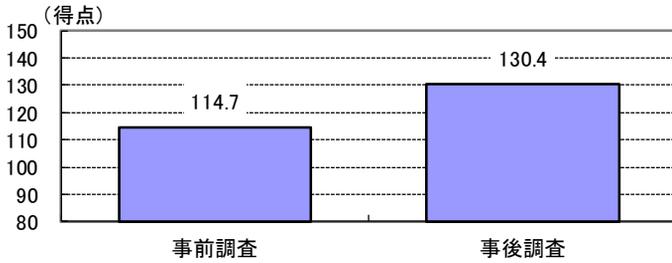


図1. 「生きる力」の平均値の推移

(事前一事後)

- ・事前から事後にかけて 15.7ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

「心理的社会的能力」の変容 (得点範囲: 14~84点)

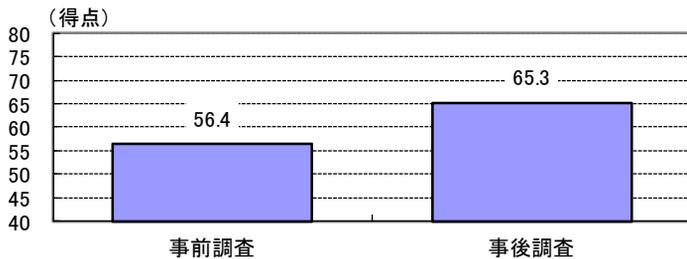


図2. 「心理的社会的能力」の平均値の推移

(事前一事後)

- ・事前から事後にかけて 8.9ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

「徳育的能力」の変容 (得点範囲: 8~48点)

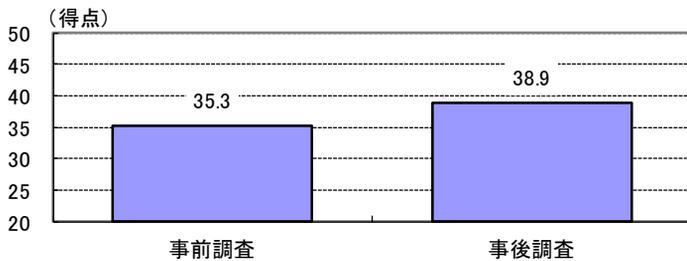


図3. 「徳育的能力」の平均値の推移

(事前一事後)

- ・事前から事後にかけて 3.6ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

「身体的能力」の変容 (得点範囲: 6~36点)

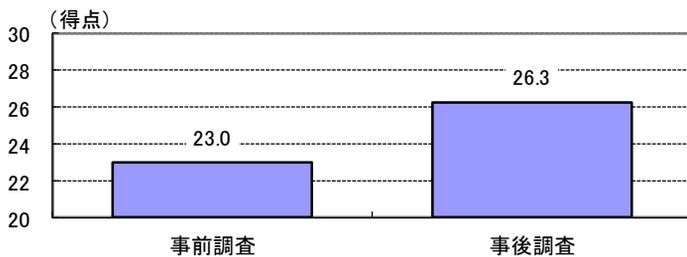


図4. 「身体的能力」の平均値の推移

(事前一事後)

- ・事前から事後にかけて 3.3ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

魅力発見エコツアー 参加者事後アンケート

(自由記述。同じ内容はまとめました)

自分が成長したと思うこと

○積極性・自立に関すること(9)

- ・自分から率先して行う。(2)
- ・自ら行動できるようになった。(2)
- ・自分でやる。
- ・自分から進んで手伝えるようになったこと。
- ・率先して片付けができるようになった。
- ・リーダーシップ
- ・積極的に動く。

○人との関わりに関すること(8)

- ・周りを見ること。(3)
- ・人との関わり方。
- ・自分勝手に行動しない。
- ・その場に合う行動ができるようになった。
- ・友達とけんかすることなく仲良く過ごせた。
- ・相手の意見を尊重する。

○思いやり・協力に関すること(6)

- ・みんなと相談すること。
- ・他の人と役割を分担できた。
- ・協力の時の行動。
- ・仲間と協力した。
- ・みんなと仲良くすること。
- ・協力すること。

○生活技能に関すること(3)

- ・みかんが少しだけ食べれるようになった！
- ・刃物をうまく使えるようになった。
- ・魚をさばけるようになった！

○自信に関すること(2)

- ・自分の事を少しだけ好きになれたこと。
- ・自分の良いところを知る。

○計画性・時間の意識に関すること(2)

- ・両方のことをやるのではなく、一つずつやること。
- ・時間を見て行動すること。

○自然・環境に関すること

- ・自然のよさを見つけること。



魅力発見エコツアーの思い出など(自由記述)

みんな得意不得意があったけど、それを何とかしようがんばっている所を見習おうと感じた。すべて自分でやるけどそれをがんばってやった。この3日間学んだことは、包丁の使い方を生かしていこうと思いました。

(小4女子)

仲間の大切さ・いろんな体験の必要性・両方行動でき、冷静な判断の重要性・協力性や役割の重要性・相手を思いやる気持ちや相手にほめられて受け入れる心。

(小6男子)

仲間はいつも元気でいたし、こうしたらいいとかを話し合っってチーム分けができていた。体験は自分がやりたくなかったら他の事をしたり、何でも挑戦する。日常では知らない人でもあいさつをする。

(小4男子)

今回のようなイベントはあまり経験することないし、みんな考えて作ることなど、なかなかないので、今回の工夫や学びを日常にいかしたいです。

(小4女子)

みんな、なぜ自分の～が好きなのか 大島がとれだけすごいか分かった。この体験を通してわかったことは、自分勝手な行動をしないこと。

(小4男子)

仲間と役割分担をしてみんなで準備したら早かった。協力してすると次したいことが早くおわる。仲間がいると協力して早く物事が片付くと気づいた。みかんがりを体験して、大島のみかんは甘くておいしいんだと改めて感じた。エコをするのは大変だけど、環境に役立つから楽しかった。リサイクルを家の日常でもしてみたい。

(小6女子)

このツアーを通して、仲間と協力することの大切さや仲間のいいところを見つけたり、教え合ったりできるようになりました。また、体験を通してチャレンジすることの大切さや大島、人、自分の魅力、知らなかったことを沢山発見することができました。私は、山口県は田舎で良いところもそんなに言うほどないと思っていたのですが、山口県や周防大島特有の魅力がよく学びました。今後は、人との関わりを大切にしたり、地元の魅力をたくさん見つけていきたいです。

(中3女子)

仲間の大切さ、みんなで協力をしているいろんな体験をする。片付けを積極的にやったり、いろんな人に話しかけることを日常に生かしたいと思いました。

(小5女子)

人と関わることの大切さを知って、他の仲間たちがいないとできないこととかもできるようになる、という考えを知りました。これからの生活も、人と関わることを大切にしようと思いました。体験を通して、去年と同じフラダンス、レイ作りなども、すごく楽しめました。やっていない活動は、いつもならやらないけれど、悔いのないようにするために、全力で楽しめるように手伝いなどを協力してがんばりました。フラダンスの真ん中になった時は、すごく怖かったし、イヤだったけど、せつかくのチャンスなので、チャレンジしました。いい所をとれて、チャレンジしてよかったなと思いました。これからも、学んだことを活かしていきたいです。

(小6女子)

生活に生かしたいことは、団体行動をするときに、周りを見ることです。すごく楽しいキャンプだったので、また参加したいです。みんなが自分の意見を大切にしてくれたし、優しくしてくれたから、いいグループだな、と思いました。

(小4女子)

魅力発見エコツアーに参加して、仲間と協力することの大切さや思いやりをよく学びました。発表の準備はペアに分かれて自分の仕事や、やる事を考えることができました。周防大島でたくさん経験をすることができ、思い出に残っています。これからも、たくさんすることにチャレンジしていきたいです。

(中2女子)

仲間とは、3日間の間でとても仲良くなれたし、色々な魅力を見つけることができました。体験はハードだったけど、とても楽しむことができました。

(中1女子)

チームワークが強いと、みんなが意見を出しやすい。みんなと話すことで、視野が広がり、仲良くなれる。時間を見て行動する！自分から行動すると信頼関係が生まれる。私はみんなより年上だから、自ら行動することを意識した。たくさん友達と話したり、一緒に過ごしたり様々なことができた。

(中3女子)

最初はみんなと仲良くなれるか不安で、遅れたのもあって顔を出すのがこわかったけど、話しかけてくれて、教えてくれてとっても嬉しかった。すぐに仲良しな友達ができて不安がなくなった。フラやほかにもいろいろな体験ができて周防大島が大好きになった。心の底から「来てよかった。」と思ってる。台風もあって行けなくなるんじゃないかっていう不安もあったけど、最後にはきれいに晴れてうれしい。

(小6女子)

色々学びました。

(小6女子)

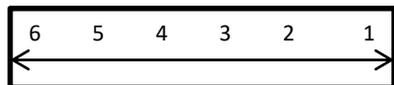
3 魅力発見エコツアーボランティアへのアンケート結果

□質問をよく読み、自分にあてはまるかどうか、「とてもよくあてはまる」から「まったくあてはまらない」までの6段階で答えてください。

※合計得点の変化を視覚化。「IKR(生きる力)評定用紙(簡易版)」(国立青少年教育振興機構)より8項目を抽出。

魅力発見エコツアーボランティア

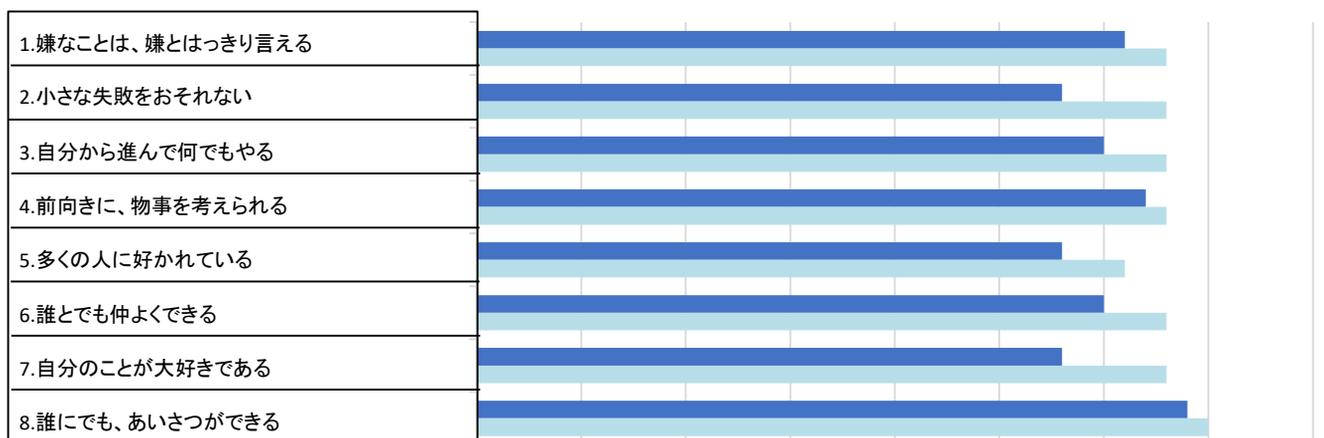
事前調査 11/2実施 (高校生5人、大学生1人、回収率100%)
事後調査 11/4実施 (高校生5人、大学生1人、回収率100%)



とてもよくあてはまる

まったくあてはまらない

上段:事前調査 下段:事後調査



【考察】プログラムの事前から事後にかけて、実施したすべての質問項目(合計値比較)で得点に上昇がみられた。

ボランティアとして参加した大学生、高校生の感想に以下のようなものがあり、ボランティア参加者にも、日常に生かせる学びがあったと考える。

- 子どもに対して気づかせるアプローチが難しいと感じました。教えることも大切ですが子ども自身で考え、学ぶことが教育で必要なことだとわかりました。私が地域の人とお話しさせていただく際には私に興味を持ってくださっていることがわかり、人のつながりを感じることができました。今回、小中学生だけでなく私たちの人材育成も事業の一つだと教えていただき、これから社会人になる身として立派な人になりたいと強く思いました。今後はこの経験を生かして就職活動に取り組みたいと思います。日本の教育に関わりたいという気持ちを持ったので国家公務員を目指して頑張ります。
- このキャンプを通してわたしは色々な人と関わることの大切さそして関わり方を学びました。人との出会いから自分の良さを発見でき、より前向きに考えることができるようになりました!
- 普段小中学生と関わりがないから知らなかったけれど、今回のボランティアで実際に関わって子どもに関わるのが楽しいな、好きだなと初めて気づいた。みかん狩りやレイづくり、なぎさ水族館など、すべてが地域の人たちの親切でなりたっていてすごく人が温かいのが良かった。みかん鍋を初めて知って、最初はびっくりしたけど、実際に食べてみてとても美味しくてよかった。フラダンスの文化があるのは知っていたけど、それ以上のことは知らなかったから知ることができてよかった。また周防大島に来たいと思った。スケジュールを成立させることと、子どもたちのしたいことを実現させて上げることのバランスが難しかった。自分で考えて行動する能力がとても上がったと思う。ぜひ今後の学校生活などに生かしていきたい。
- 活動を通して、子どもたちは自由な発想と純粋な行動力を持っており、大人になるにつれて忘れてしまうような「楽しむ力」を思い出させてくれる存在だと改めて気づきました。将来、子どもと関わる職業に就きたいと考えているため、今回のボランティアで得た経験を活かしていきたいです。特に、子どもたちと自然の中で一緒に活動し、子どもたちの成長を間近で感じられたことは、ボランティアとして参加した私にとっても貴重な経験になりました。

(参考) プログラムの実施体制について



実施に係る体制（運営関係者）

①企画熟議

所属	内訳
周防大島高等学校	安部校長先生、片岡教頭先生他教職員2名
山口県立大学	丹副学長他教職員4名

②エコツアー

・運営スタッフ

氏名	所属
小西 雅子	山口県立萩総合支援学校
引地 隆良	岩国市立岩国中学校

・ボランティアスタッフ

氏名	所属
青井 知章	山口大学
大谷 心海	野田学園高等学校
熊野 夏帆	誠英高等学校
中田 雅治	山口県立周防大島高等学校
平佐田 ひより	山口県立徳山高等学校
柳沢 みゆう	山口県立周防大島高等学校

・エコツアー企画・調整・プログラムへの協力者、支援者

氏名	所属	協力内容
安部 豊	周防大島高校校長	高校生の協力調整
アロハフラ島校のみなさん (立川さん、松岡さん、柳沢さん)		フラダンスの指導、講話
魚原 幸嗣	周防大島町農林水産課	地家室園地拠点施設との調整
内田 博陽	なぎさ水族館 学芸員	館内案内、レジアート講師
大内 清香	大内バラ園経営者	レイづくり指導
片岡 直史	周防大島高校教頭	高校生の協力調整、活動場所調整・管理
亀井 崇史	周防大島町教育委員会 社会教育主課	講話「周防大島とハワイの関係」
五反田 有紀	周防大島町農林水産課 地域おこし協力隊	地家室園地拠点施設の活動場所調整・提供
永井 美恵子		
嶋津鮮魚店		みかん鍋食材の調整と食材調達の交渉
武石 智絵	株式会社 樹	竹灯籠づくり指導
鳥村 洋人	周防大島町産業建設環境部	なぎさ水族館との調整
長尾 恵子	長尾八幡宮宮司奥様	みかん体験サポート、ジュース・ジャムづくり
長尾 健彦	長尾八幡宮宮司	全体調整、地元の方々の紹介
長谷 興一	ゲストハウス HOSHIKAZE	主会場の提供、食材の調達調整
岬崎 光志	みかん農家	みかん収穫体験実施、収穫実技指導
道の駅ザンセトとうわ		ソフトクリーム提供調整、見学場所提供

令和6年度 地域と連携したリアルな体験活動充実事業 チャレンジ&エコツアー“魅力発見エコツアー”報告書



令和7年3月

山口県教育庁 地域連携教育推進課 青少年教育班
山口県山口市滝町1-1
電話 083-933-4650

※本事業は、文部科学省の令和6年度「体験活動等を通じた青少年自立支援プロジェクト」の委託を受けて実施しました。